

令和5年第2回えびの市公共工事
入札・契約監視委員会 会議録概要

令和5年7月7日(金) 午後2時 開会
宮崎市民プラザ 大会議室

調査及び審議事項

① 公共工事の入札及び契約手続きの運用状況に関すること

市： 令和4年10月1日から令和5年3月31日までに於ける、予定価格が130万円を超える工事の入札・契約状況は次の通り。

- ・ 一般競争入札 件数 5件 契約金額 8,850,600円
- ・ 指名競争入札 件数 52件 契約金額 453,824,294円
- ・ 随意契約 件数 5件 契約金額 15,785,000円

調査及び審議事項

② 公共工事のうち談合情報が寄せられたものについて、市の対応状況に関すること

市： 談合情報が寄せられた工事はなかった。

調査及び審議事項

③ 抽出された公共工事に係る入札参加資格の設定、入札参加者の指名、随意契約の理由等に関すること

委員： 抽出にあたっては、競争性の確保の観点から、落札率の高いものに着目した。また、契約辞退等の応札状況や不明な事案について抽出対象とした。

事案1 令和4年度 社会資本整備総合交付金事業 市道妙見線 道路修繕工事

委員： [抽出理由]

入札事案から入札率が高く、金額が比較的大きいものを抽出した。
1社辞退で、その他はほぼ100%の応札となっている。

- ・ 工事概要 施工延長 L=100.0m、舗装工 A=792㎡
- ・ 工事ランク 土木C2班
- ・ 指名業者数 8者 事業規模に応じた等級区分による指名
- ・ 入札辞退者 1者
- ・ 最低制限価格未満の入札 なし
- ・ 予定価格（消費税込） 9,119,000円
- ・ 落札額（消費税込） 9,097,000円
- ・ 落札率 99.76%

市： この工事は、道路のアスファルト舗装及び路盤を入れ替える、道路の修繕工事になる。このような入札の経緯になった理由は、大型車両が多い路線であり、道路勾配が急であるため、安全管理や雨天時の維持管理に経費がかかり、また、令和4年度は災害等も多く9月から11月にかけて入札不調が多く発生しており、Cクラスについては、現場代理人の確保、作業員の確保が出来ない状況であり、積極的な入札がなかったと推察している。

委員：現場の状況等により積極的に入札する業者が少ないのではと思ったが、人がいない状況が大きいと理解した。

事案2 令和4年度令和2年耕地災第209-1027・1029号 水流地区外1地区 水路災害復旧工事

委員： [抽出理由]

土木Aの入札事案から入札率が高く、金額が比較的大きいものを抽出した。1者辞退で、落札者以外は100%の応札となっている。

- ・ 工事概要 水流地区 L=28.0m、大型ブロック積工 A=138.0 m²、L型三面水路 L=16.0m
ボックスカルバート L=10.0m
永野原地区 L=9.5m、ブロック積工 A=8.5 m²、現場打三面張水路工 L=5.7m
- ・ 工事ランク 土木A
- ・ 指名業者数 5者 事業規模に応じた等級区分による指名
- ・ 入札辞退者 なし
- ・ 最低制限価格未満の入札 なし
- ・ 予定価格（消費税込） 25,185,600円
- ・ 落札額（消費税込） 25,080,000円
- ・ 落札率 99.58%

市： 本工事は、大雨時の出水により用水路が崩壊したため、その復旧工事である。本工事現場は河川沿にある用水路であり、現場までの工事用道路が河川を横断する部分もあり、作業効率の良い現場と比較すると敬遠されるものと考えられ、辞退や公表価格と同額の応札になり、入札率が高くなったものと推察している。

委員： 作業効率が悪い現場では、入札の後でも価格の調整は出来るのか。

市： この工事現場は、工事用道路が河川を横断する形であり、雨の影響で法面が崩れたすると補修する必要があるが、仮に大きく流された場合は設計変更の対象になると思うが、軽微な補修は変更対象に挙げにくく日常的な維持管理に関しては難しいため、敬遠されるのではないかと推察している。

事案3 令和4年度 駅前地区配水管 架替工事

委員： [抽出理由]

落札率が99.25%と高く、指名5社のうち、2社が辞退、2社が100%の応札となっている。

- ・ 工事概要 既設配水管撤去工 φ150 N=1式 配水管布設工 φ150 N=1式
- ・ 工事ランク 水道施設B班
- ・ 指名業者数 5者 管工事組合に属する業者
- ・ 入札辞退者 2者
- ・ 最低制限価格未満の入札 なし
- ・ 予定価格（消費税込） 5,874,000円
- ・ 落札額（消費税込） 5,830,000円
- ・ 落札率 99.25%

市： 本工事は、市道を横断する農業用水兼防火用水路を跨ぎ配置され、老朽化が進んでいる水道管を耐震性のある水道管に架け替える工事であり、水道事業実務必携等の資料を基に積算・精査し、入札を執行した。本工事で採用したポリエチレン管は、通電して電熱線を発熱させ、継手と管の樹脂を加熱溶解して一体化する管種で降雨等の十分な対策が必要となり、近年市の発注工事で積極的に採用している管種である。本工事の作業条件として、既設管との接合に伴い用水路底より深い掘削が必要となるが、防火用水路のため止水が出

来ず、用水路からの漏水による水対策や市道幅員が狭い中での配管作業などを考慮した結果、積極的な入札がなかったと推察している。

委員： この工事は人員不足ではなく、現場での作業効率の部分により積極的な入札にならなかったのではないという事か。

市： この入札は12月に執行したが、えびの市は寒い時期に入ると一般家庭での寒波対策等の配管工事も行っている関係上、人員不足もかなりあり、積極的な入札が行われなかったのではないかと推測している。

事案4 令和4年度 治山事業 溝口地区 復旧工事

委員： [抽出理由]

指名9社のうち8社が辞退しており、1社のみ応札し99.94%の落札率となっている。他にも同様の案件が5件ほどある。辞退が多い理由等を確認したい。

- ・ 工事概要 復旧延長 19.5m、木製枠工 97.5m、柵工 119.0m、法面工 78.0m²
- ・ 工事ランク 災害復旧3組
- ・ 指名業者数 9者 工事の内容に応じた指名
- ・ 入札辞退者 8者
- ・ 最低制限価格未満の入札 なし
- ・ 予定価格（消費税込） 8,636,100円
- ・ 落札額（消費税込） 8,630,600円
- ・ 落札率 99.94%

市： 辞退理由として、令和4年度も災害の発生件数が多く、施工業者側の技術者や人員不足が考えられる。また、災害復旧に関する工事においては、全般的に湧水に伴う被災箇所が多く、復旧するにあたり天候によって施工の進捗に影響されることが想定でき、今回の箇所も山腹の施工区域内からの湧水が目視できる状況であったこともあり多くの業者が作業効率の低下を懸念され辞退されたと推測している。また、この入札は、令和4年11月10日に入札を執行したが全者辞退により不調となったため、施工内容及び指名業者の見直しにより再入札したものである。

委員： 辞退か入札額が100%と言う競争性の部分で悩ましい問題であり、業者が人員不足で請けてくれない場合、益々競争性が阻害される難しい問題である。人材、技術者の育成など色々考えている事があるのか。

市： 後継者育成としては、建設業の資格等の取得に対する助成は行っている。実績は多くないが毎年数件は申請がある。

事案5 令和3年度 令和3年耕地災市単独災害復旧事業 壱ヶ渡地区 田災害復旧工事

委員： [抽出理由]

令和3年度の災害復旧工事だが随契理由が地方自治法施行令第167条の2第1項第6号「競争入札に付することが不利と認められるとき」となっている。判断の根拠を確認したい。

- ・ 工事概要 工食用道路 L=105.0m
- ・ 随意契約の理由 地方自治法施行令第167条の2第1項第6号（指名競争入札に付することが不利と認められるとき）
- ・ 予定価格（消費税込） 1,354,100円

- ・ 落札額（消費税込） 1,353,000 円
- ・ 落札率 99.91%

市： 本工事は、梅雨前線の豪雨により田の法面が崩壊したため、その復旧工事を行うための工事用道路を設置するものであり、緊急に復旧する必要があり、施工中の工事と密接不可分であることから、関連工事を施工中であった事業者には施工させることで、工期の短縮や経費の節減が確保でき、さらに安全かつ円滑な工事施工の確保が可能となるなど有利が認められるため、地方自治法第167条の2第1項第6号「競争入札に付することが不利と認められるとき」に基づき執行したものである。

委員： 田の災害復旧工事は技術的に難しいものなのか。

市： 田の災害復旧工事に使われる主な工種として、ふとん箆工が採用されているが、ふとん箆については、専門職による施工が一般的であり、普通の作業員では施工が難しい事から、業者から敬遠されている状況がある。石屋を見つけた施工業者が落札している状況である。

委員： 技能を持った職人がいないという事で理解した。

市長へ報告する調査及び審議の結果、又は市長に対する意見等

特になし。